

株 主 各 位

東京都千代田区平河町一丁目4番12号
株 式 会 社 ベ ル パ ー ク
代表取締役社長 西 川 猛

第23回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

さて、当社第23回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申しあげます。

なお、当日ご出席願えない場合は、書面によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成28年3月23日（水曜日）午後7時までに到着するようにご返送くださいますようお願い申しあげます。

敬 具

記

1. 日 時 平成28年3月24日（木曜日）午前10時
 2. 場 所 東京都千代田区平河町二丁目4番3号
ホテル ルポール麹町 2階「ロイヤルクリスタルの間」
（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）
 3. 目的事項
報告事項
 1. 第23期（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の
連結計算書類監査結果報告の件
 2. 第23期（平成27年1月1日から平成27年12月31日まで）
計算書類報告の件
- 決議事項
- | | |
|-------|-----------|
| 第1号議案 | 剰余金処分の件 |
| 第2号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第3号議案 | 取締役7名選任の件 |
| 第4号議案 | 監査役2名選任の件 |

以 上

-
- ◎ 当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。
- ◎ 本招集ご通知に際して提供すべき書類のうち、業務の適正を確保するための体制及びその運用状況の概要、連結計算書類の連結株主資本等変動計算書及び連結注記表並びに計算書類の株主資本等変動計算書及び個別注記表につきましては、法令及び当社定款第15条の規定に基づき、インターネット上の当社ホームページ（<http://www.bellpark.co.jp>）に掲載しておりますので、本招集ご通知の提供書面には記載していません。
- 従いまして、本招集ご通知の提供書面は、監査役が監査報告書を、会計監査人が会計監査報告書をそれぞれ作成するに際して監査をした対象の一部であります。
- ◎ 株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ホームページ（<http://www.bellpark.co.jp>）に掲載させていただきます。

(提供書面)

事業報告

(平成27年1月1日から
平成27年12月31日まで)

1. 企業集団の現況に関する事項

(1) 当連結会計年度の事業の状況

① 事業の経過及び成果

当社グループの主な事業領域であります携帯電話等販売市場は、移動体通信事業者各社がNTT東西の「光コラボレーションモデル」を活用した光ブロードバンドサービスと携帯電話回線との「セット割引」を開始する等の積極的な販促活動により、家族単位ののりかえ(MNP)顧客獲得の動きが活発になりました。

このような事業環境の中で、当社グループはお客様に評価され、その結果として通信キャリアからも高評価を得られるショップ運営を目指しました。「販売現場から当業界の常識を変えることにより貢献したい」との思いのもと、CS(お客様満足度)の向上に注力し、通信キャリアの施策についても必要があれば販売現場の視点で提言させていただきました。平成26年2月にOCモバイル(現株式会社ベルパークネクスト)を取得した事で、ドコモ、auの店舗が加わりましたが、2年弱の店舗運営を通じ、全ての通信キャリアから高評価を戴き、これら店舗及び周辺事業は当連結会計年度の増益に貢献しました。

以上の結果、当連結会計年度における業績は、売上高90,145百万円(前連結会計年度比1.5%減)、営業利益3,212百万円(同35.5%増)となりました。経常利益は、営業外収益として投資事業組合運用益30百万円を計上したこと等により、3,269百万円(同31.2%増)となりました。また、特別利益として投資有価証券売却益45百万円、特別損失として減損損失147百万円を計上したこと等により、当期純利益は1,798百万円(同34.9%増)となりました。

[ご参考：当社グループ運営店舗数]

当社グループが運営する主要3キャリアのキャリア認定ショップ数は、ソフトバンクショップ251店舗、ドコモショップ8店舗、auショップ8店舗となりました。

(平成27年12月末時点)

	直営店	フランチャイズ	計
ソフトバンクショップ	191	60	251
ドコモショップ	8	-	8
auショップ	6	2	8
ワイモバイルショップ	7	3	10
Apple関連	3	-	3
独自店	1	-	1
合計	216	65	281

② 設備投資の状況

当連結会計年度における設備投資の総額は212百万円であります。その主なものは、店舗等の開設、移転及び改修に伴う設備の取得によるものであります。

③ 資金調達の状況

記載すべき重要な事項はありません。

④ 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割の状況

該当事項はありません。

⑤ 他の会社の事業の譲受けの状況

記載すべき重要な事項はありません。

- ⑥ 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況
該当事項はありません。
- ⑦ 他の会社の株式、その他の持分又は新株予約権等の取得又は処分の状況
該当事項はありません。

(2) 財産及び損益の状況

① 企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第 20 期 (平成24年12月期)	第 21 期 (平成25年12月期)	第 22 期 (平成26年12月期)	第 23 期 (当連結会計年度) (平成27年12月期)
売 上 高(千円)	—	—	91,485,644	90,145,118
当 期 純 利 益(千円)	—	—	1,332,804	1,798,597
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	—	—	207.46	280.43
総 資 産(千円)	—	—	26,600,203	30,204,762
純 資 産(千円)	—	—	14,795,933	16,396,600
1 株 当 た り 純 資 産 額 (円)	—	—	2,291.58	2,531.41

- (注) 1. 第22期より連結計算書類を作成しております。
2. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。また、期中平均発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。

② 当社の財産及び損益の状況

区 分	第 20 期 (平成24年12月期)	第 21 期 (平成25年12月期)	第 22 期 (平成26年12月期)	第 23 期 (当事業年度) (平成27年12月期)
売 上 高(千円)	74,468,867	84,227,622	88,099,226	86,010,798
経 常 利 益(千円)	3,200,797	3,425,624	2,496,715	3,066,141
当 期 純 利 益(千円)	1,783,495	1,878,660	1,324,552	1,656,409
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	269.84	289.52	206.17	258.26
総 資 産(千円)	21,647,779	24,020,736	26,037,356	29,495,164
純 資 産(千円)	12,502,623	13,731,047	14,787,681	16,246,159
1 株 当 た り 純 資 産 額 (円)	1,891.07	2,120.86	2,290.29	2,507.96

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。また、期中平均発行済株式数については、自己株式数を控除して算出しております。
2. 当社は、平成24年11月29日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、第20期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産額を算定しております。

(3) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社の状況

当社には該当する親会社はありません。

② 重要な子会社の状況

会 社 名	資 本 金	当社の議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
株式会社ベルパーク ネクスト	100百万円	100.0%	情報通信機器販売サービス事業

(4) 対処すべき課題

当社グループは以下の5点を主な経営課題として認識しております。

① 人材への投資

人材の優劣が将来の業績を左右するとの考えから、人材への投資が最重要課題と認識しております。

スマートフォンの登場以降、ショップスタッフに求められる水準はますます高くなる一方で、クレーム対応や長時間残業等により、業界全体の退職率は上昇してきていると言われております。

当社グループは、新卒・中途社員問わず優秀な人材の採用と育成に注力するとともに、細やかなメンタルケア、通信事業者を巻き込んだ労働環境改善等、ES（従業員満足度）への配慮を一層行い、人材の質をさらに高めることで収益性との両立を目指してまいります。

② CS（お客様満足度）の向上

携帯電話等販売市場は、消費者保護を目的とした法令・サービスの見直しの動きやMVNO事業者の増加、携帯電話とコラボレーションした新サービスの登場等により、顧客獲得競争は新たな局面を迎えております。そのような環境下で、キャリアショップでのCSやコンサルティング能力を含めたトータルの競争力が顧客獲得競争における大きな要因と成り得るものと認識しております。

当社グループはCSの向上に取り組み、お客様、移動体通信事業者の双方から評価される販売代理店となることで、手数料の最大化、利益の最大化を図ってまいります。

③ 収益性の高い販売網の構築

アクセスのよい店舗立地、ゆったりとした展示スペース、お客様をお待たせしない十分なカウンター数を確保することは、CSの向上、キャリアのブランドイメージ向上に不可欠となります。基準を満たす好立地の物件に対する出店や移転、店舗の改装、増床、カウンター増設等店舗の大型化についても、コストを勘案しつつ検討してまいります。

④ 新規事業の創出

当社グループは情報通信機器販売サービス事業を展開しており、主要な移動体通信事業者のキャリアショップを運営しております。消費者保護を目的とした法令・サービスの見直しの動きやMVNO事業者増加による価格競争等により、毎月の通信利用料金は今後低下することが予想され、それに伴い、移動体通信事業者の収益を原資とした販売手数料も低下することが予想されます。

当社グループでは新規事業開発の専門チームを設け、新規事業の創出の取り組みを進めており、収益基盤の強化及び事業の多様化に取り組んでまいります。

⑤ 経営体制の強化

ステークホルダーとの相互繁栄を図るにあたり、専門性の高い優秀な社外役員の登用による取締役会の活性化、ガバナンスの強化に取り組んでまいりました。

引き続き優秀な人材の幹部登用等によって、代表取締役役に過度に依存しない経営体制の構築を進めてまいります。

(5) 主要な事業内容 (平成27年12月31日現在)

事業	主要な事業内容
情報通信機器販売サービス事業	携帯電話等情報通信機器の通信サービスの新規契約等の取次、情報通信機器等商品の販売、割賦契約の斡旋、故障修理や料金プランの変更等受付、並びに通信料金の収納受付等

(6) 主要な事業所及び店舗（平成27年12月31日現在）

会社名		区分	所在地
当 社	株式会社 ベルパーク	本社	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
		東海事務所	愛知県名古屋市中村区名駅五丁目5番22号
		関西事務所	大阪府大阪市中央区安土町一丁目7番20号
		九州事務所	福岡県福岡市博多区博多駅東一丁目17番25号
		ソフトバンクショップ 191店舗	宮城県3店舗、新潟県3店舗 福井県2店舗、東京都61店舗 神奈川県20店舗、千葉県24店舗 埼玉県19店舗、茨城県1店舗 群馬県2店舗、栃木県2店舗 愛知県17店舗、岐阜県9店舗 三重県6店舗、大阪府11店舗 兵庫県2店舗、岡山県1店舗 広島県2店舗、佐賀県1店舗 福岡県2店舗、長崎県2店舗 熊本県1店舗
		ワイモバイルショップ 7店舗	東京都3店舗、神奈川県2店舗 千葉県1店舗、埼玉県1店舗
		auショップ 6店舗	宮城県1店舗、東京都2店舗 千葉県1店舗、茨城県1店舗 福岡県1店舗
		Apple関連 3店舗	東京都2店舗、千葉県1店舗
		独自店 1店舗	東京都世田谷区北沢二丁目13番7号
子 会 社	株式会社 ベルパーク ネクスト	本社	東京都千代田区平河町一丁目4番12号
		中国事務所	広島県広島市南区宇品西三丁目1番33号
		ドコモショップ 8店舗	東京都2店舗、愛知県1店舗 鳥取県1店舗、島根県1店舗 岡山県2店舗、広島県1店舗

(注) 上記店舗は直営であり、フランチャイズは含まれておりません。

(7) 使用人の状況（平成27年12月31日現在）

① 企業集団の使用人の状況

使 用 人 数	前連結会計年度末比増減
1,178名（705名）	136名増（161名減）

- (注) 1. 使用人数は就業員数であり、臨時雇用者数は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 当連結会計年度に使用人数が増加し、臨時雇用者数が減少した主な理由は、ショップスタッフの臨時雇用者を正社員へ登用したことによるものであります。

② 当社の使用人の状況

使 用 人 数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
1,126名（623名）	118名増（124名減）	29.1歳	4.3年

- (注) 1. 使用人数は就業員数であり、臨時雇用者数は（ ）内に年間の平均人員を外数で記載しております。
2. 当事業年度に使用人数が増加し、臨時雇用者数が減少した主な理由はショップスタッフの臨時雇用者を正社員へ登用したことによるものであります。

(8) 主要な借入先の状況（平成27年12月31日現在）

該当事項はありません。

(9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

2. 会社の現況

(1) 株式の状況（平成27年12月31日現在）

- ① 発行可能株式総数 26,370,000株
- ② 発行済株式の総数 6,732,600株（自己株式318,808株を含む）
- ③ 株主数 2,200名
- ④ 大株主（上位10名）

株 主 名	持株数（株）	持株比率（％）
株式会社光通信	1,966,600	30.66
株式会社日本ビジネス開発	1,750,300	27.29
西川 猛	1,525,900	23.79
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	389,500	6.07
ソフトバンク株式会社	238,500	3.72
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	56,200	0.88
株式会社P&Pホールディングス	15,900	0.25
東京海上日動火災保険株式会社	14,400	0.22
第一生命保険株式会社	13,500	0.21
ベルパーク従業員持株会	11,300	0.18

(注) 1. 当社は、自己株式を318,808株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(2) 新株予約権等の状況

当事業年度の末日において当社役員が保有している職務執行の対価として交付された新株予約権の状況

		第4回新株予約権
発行決議日		平成25年4月26日
新株予約権の数		291個
新株予約権の目的となる株式の種類と数		普通株式 29,100株 (新株予約権1個につき100株)
新株予約権の払込金額		新株予約権1個当たり 273,100円 (1株当たり2,731円)
新株予約権の行使に際して出資される財産の価額		新株予約権1個当たり 100円 (1株当たり1円)
権利行使期間		平成30年5月15日から 平成35年5月14日まで
行使の条件		(注) 1～3
役員 保有 状況	取締役 (社外取締役を除く)	新株予約権の数 291個 目的となる株式数 29,100株 保有者数 3名
	社外取締役	新株予約権の数 — 目的となる株式数 — 保有者数 —
	監査役	新株予約権の数 — 目的となる株式数 — 保有者数 —

- (注) 1. 当社の平成25年12月期から平成29年12月期までの事業年度のいずれかにおいて、連結又は当社単独での営業利益が50億円以上であること。
2. 新株予約権者は、新株予約権の行使時において、当社及び当社子会社の取締役、監査役又は従業員であることを要する。ただし、任期満了による退任、定年退職その他正当な理由がある場合にはこの限りではない。
3. 新株予約権者が新株予約権を放棄した場合には、かかる新株予約権は行使することができない。

(3) 会社役員 の 状況

① 取締役及び監査役の状況（平成27年12月31日現在）

会社における地位	氏 名	担当及び重要な兼職の状況
代表取締役社長	西 川 猛	株式会社ベルパークネクスト 代表取締役社長
取 締 役	古 川 等	営業本部長
取 締 役	石 川 洋	管理本部長 株式会社ベルパークネクスト 取締役
取 締 役	高 須 武 男	
取 締 役	秋 田 芳 樹	株式会社レイヤーズ・コンサルティング 代表取締役会長
取 締 役	ジョン・ダーキン	株式会社スシローグローバルホールディングス 取締役執行役員財務経理部担当 株式会社あきんどスシロー 取締役常務執行役員兼CFO財務本部長 株式会社スシロークリエイティブダイニング 取締役
取 締 役	ジュラヴリョフ・オレグ	株式会社シェアードリサーチ 代表取締役
常 勤 監 査 役	敦 谷 敬 一	
監 査 役	齋 藤 邦 雄	株式会社SMEサポート 代表取締役
監 査 役	山 川 隆 久	ルネス総合法律事務所 弁護士

- (注) 1. 取締役高須武男氏、秋田芳樹氏、ジョン・ダーキン氏及びジュラヴリョフ・オレグ氏の4名は、社外取締役であります。
2. 常勤監査役敦谷敬一氏、監査役齋藤邦雄氏及び山川隆久氏の3名は、社外監査役であります。
3. 常勤監査役敦谷敬一氏及び監査役齋藤邦雄氏の2名は、金融機関勤務を通して培った豊富な知識と経験があり、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 監査役山川隆久氏は、弁護士として企業法務に精通しており、コンプライアンスに関する相当程度の知見を有しております。
5. 当社は、社外取締役高須武男氏、秋田芳樹氏、ジョン・ダーキン氏及び社外監査役敦谷敬一氏、齋藤邦雄氏の5名を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

② 取締役及び監査役の報酬等の総額

役員区分	報酬等の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額(千円)		対象となる 役員の員数 (名)
		基本報酬	ストック オプション	
取締役	67,334	55,200	12,134	7
(うち社外取締役)	(14,400)	(14,400)	(-)	(4)
監査役	13,800	13,800	-	3
(うち社外監査役)	(13,800)	(13,800)	(-)	(3)
合計 (うち社外役員)	81,134 (28,200)	69,000 (28,200)	12,134 (-)	10 (7)

- (注) 1. 取締役の報酬等には、使用人兼務取締役の使用人分給与は含まれておりません。
 2. ストックオプションには、当事業年度における費用計上額を記載しております。

③ 社外役員に関する事項

イ. 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

取締役秋田芳樹氏は、株式会社レイヤーズ・コンサルティングの代表取締役会長であります。なお、当社と株式会社レイヤーズ・コンサルティングとの間には特別の関係はありません。

取締役ジョン・ダーキン氏は、株式会社スシログローバルホールディングスの取締役執行役員財務経理部担当、株式会社あきんどスシローの取締役常務執行役員兼CFO財務本部長、株式会社スシロークリエイティブダイニングの取締役であります。なお、当社と各社との間には特別の関係はありません。

取締役ジュラヴリョフ・オレグ氏は、株式会社シェアードリサーチの代表取締役であります。なお、当社と株式会社シェアードリサーチの間には、アナリストレポート作成等に関する取引があります。

監査役齋藤邦雄氏は、株式会社SMEサポートの代表取締役であります。なお、当社と株式会社SMEサポートの間には特別の関係はありません。

監査役山川隆久氏は、ルネス総合法律事務所の弁護士であり、当社の法律顧問であります。

- ロ. 当事業年度における主な活動状況
- ・取締役会及び監査役会への出席状況

		取締役会(14回開催)		監査役会(14回開催)	
		出席回数 (回)	出席率 (%)	出席回数 (回)	出席率 (%)
取締役	高須 武男	14	100.0	—	—
取締役	秋田 芳樹	14	100.0	—	—
取締役	ジョン・ ダーキン	14	100.0	—	—
取締役	ジュラヴリョフ ・オレグ	14	100.0	—	—
常勤監査役	敦谷 敬一	14	100.0	14	100.0
監査役	齋藤 邦雄	14	100.0	14	100.0
監査役	山川 隆久	14	100.0	14	100.0

(注) 上記の取締役会の開催回数のほか、会社法第370条及び当社定款第23条の規定に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が3回ありました。

- ・取締役会及び監査役会における発言状況

取締役高須武男氏は、企業経営者として経営全般にわたる豊富な経験と幅広い知見に基づき、取締役会において助言・提言を行っております。

取締役秋田芳樹氏は、公認会計士やコンサルティング会社代表取締役としての豊富な経験、知見等に基づき、取締役会において助言・提言を行っております。

取締役ジョン・ダーキン氏は、財務分野における高い見識と企業経営者として経営全般にわたる豊富な経験に基づき、取締役会において助言・提言を行っております。

取締役ジュラヴリョフ・オレグ氏は、証券アナリストとしての業務経験やIR会社の代表取締役としての豊富な経験に基づき、取締役会において助言・提言を行っております。

常勤監査役敦谷敬一氏は、金融機関勤務を通して培った豊富な知識と経験に基づき、取締役会及び監査役会において助言・提言を行っております。

監査役齋藤邦雄氏は、金融機関出身であり、知識と経験に基づき、取締役会及び監査役会において助言・提言を行っております。

監査役山川隆久氏は、弁護士としての専門的見地から、取締役会及び監査役会において助言・提言を行っております。

ハ. 責任限定契約の内容の概要

当社は、会社法第427条第1項の規定に基づき、会社法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結することができる旨を定款に規定しており、各社外取締役及び各社外監査役との間で責任限定契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。

(4) 会計監査人の状況

- ① 名称 有限責任 あずさ監査法人
- ② 報酬等の額

	支払額
当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額	34,000千円
当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額	34,000千円

(注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人としての報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。

2. 監査役会は、会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況及び報酬見積りの算出根拠などが適切であるかどうかについて必要な検証を行ったうえで、会計監査人の報酬等の額について同意の判断をいたしました。

③ 非監査業務の内容

当社は、会計監査人に対して、公認会計士法第2条第1項の業務以外の業務（非監査業務）を委託しておりません。

④ 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号に定める項目に該当すると認められる場合は、監査役全員の同意に基づき、会計監査人を解任いたします。

また、監査役会は、会計監査人の適格性、独立性を害する事由等の発生により、適正な監査の遂行が困難であると認められる場合には、監査役会の決議により、会計監査人の解任又は不再任に関する議案を株主総会に提出いたします。

連結貸借対照表

(平成27年12月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	26,708,742	流 動 負 債	13,137,921
現金及び預金	9,947,854	買掛金	9,835,447
売掛金	10,796,312	未払金	583,194
商 品	5,207,203	未払費用	361,912
貯 蔵 品	117,018	未払法人税等	906,114
未 収 入 金	221,122	賞与引当金	252,771
繰延税金資産	188,978	短期解約違約金損失引当金	7,451
そ の 他	234,487	そ の 他	1,191,028
貸倒引当金	△4,234		
固 定 資 産	3,496,019	固 定 負 債	670,240
有 形 固 定 資 産	968,213	退職給付に係る負債	293,348
建物及び構築物	795,784	資産除去債務	305,042
車 両 運 搬 具	273	そ の 他	71,849
工具、器具及び備品	133,254		
土 地	38,900	負 債 合 計	13,808,161
無 形 固 定 資 産	348,842	純 資 産 の 部	
の れ ん	214,639	株 主 資 本	16,240,442
そ の 他	134,202	資 本 金	1,148,322
投 資 そ の 他 の 資 産	2,178,964	資 本 剰 余 金	1,872,489
投資有価証券	27,030	利 益 剰 余 金	13,830,354
長期貸付金	36,788	自 己 株 式	△610,724
敷 金	1,676,573	その他の包括利益累計額	△4,497
繰延税金資産	328,443	その他有価証券評価差額金	△4,497
そ の 他	112,678	新 株 予 約 権	160,655
貸倒引当金	△2,550	純 資 産 合 計	16,396,600
資 産 合 計	30,204,762	負 債 純 資 産 合 計	30,204,762

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連 結 損 益 計 算 書

（平成27年1月1日から
平成27年12月31日まで）

（単位：千円）

科 目	金 額	
売 上 高		90,145,118
売 上 原 価		71,580,390
売 上 総 利 益		18,564,727
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		15,352,436
営 業 利 益		3,212,291
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	15	
受 取 賃 貸 料	7,200	
物 品 売 却 益	8,783	
投 資 事 業 組 合 運 用 益	30,394	
助 成 金 収 入	9,884	
そ の 他	13,183	69,462
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	1,392	
賃 貸 費 用	7,200	
そ の 他	3,174	11,767
経 常 利 益		3,269,985
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	66	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	45,569	45,635
特 別 損 失		
減 損 損 失	147,548	
会 員 権 評 価 損	4,322	
店 舗 等 撤 退 費 用	4,556	
そ の 他	4,945	161,373
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益		3,154,248
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,400,562	
法 人 税 等 調 整 額	△44,911	1,355,650
当 期 純 利 益		1,798,597

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(平成27年12月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	25,400,614	流 動 負 債	12,601,077
現金及び預金	9,313,215	買掛金	9,483,888
売掛金	10,393,386	未払金	535,562
商品	4,944,700	未払費用	337,536
貯蔵品	114,195	未払法人税等	848,789
前払費用	214,741	未払消費税等	329,494
未収入金	243,185	預り金	806,744
繰延税金資産	173,242	賞与引当金	234,571
その他	7,487	短期解約違約金損失引当金	7,451
貸倒引当金	△3,541	その他	17,038
固 定 資 産	4,094,549	固 定 負 債	647,926
有 形 固 定 資 産	852,089	退職給付引当金	288,370
建物	709,447	資産除去債務	287,707
構築物	21,293	その他	71,849
車両運搬具	273	負 債 合 計	13,249,004
工具、器具及び備品	121,074	純 資 産 の 部	
無 形 固 定 資 産	307,144	株 主 資 本	16,090,001
のれん	173,196	資 本 金	1,148,322
ソフトウェア	128,094	資 本 剰 余 金	1,872,489
その他	5,853	資 本 準 備 金	1,602,729
投 資 そ の 他 の 資 産	2,935,316	その他資本剰余金	269,759
投資有価証券	27,030	利 益 剰 余 金	13,679,914
関係会社株式	844,824	利 益 準 備 金	8,078
長期貸付金	36,788	その他利益剰余金	13,671,835
敷金	1,580,863	繰越利益剰余金	13,671,835
会 員 権	52,600	自 己 株 式	△610,724
長期前払費用	57,712	評 価 ・ 換 算 差 額 等	△4,497
繰延税金資産	337,047	その他有価証券評価差額金	△4,497
その他	1,000	新 株 予 約 権	160,655
貸倒引当金	△2,550	純 資 産 合 計	16,246,159
資 産 合 計	29,495,164	負 債 純 資 産 合 計	29,495,164

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

（平成27年1月1日から
平成27年12月31日まで）

(単位：千円)

科目	金額	
売 上 高		86,010,798
売 上 原 価		68,653,662
売 上 総 利 益		17,357,136
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		14,396,687
営 業 利 益		2,960,449
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	15	
受 取 賃 貸 料	8,985	
関 係 会 社 業 務 受 託 収 入	48,370	
投 資 事 業 組 合 運 用 益	30,394	
商 品 券 受 贈 益	1,719	
そ の 他	29,543	119,029
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	1,392	
賃 貸 費 用	8,985	
そ の 他	2,959	13,337
経 常 利 益		3,066,141
特 別 利 益		
固 定 資 産 売 却 益	66	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	45,569	45,635
特 別 損 失		
減 損 損 失	178,446	
会 員 権 評 価 損	4,322	
店 舗 等 撤 退 費 用	4,556	
そ の 他	2,597	189,922
税 引 前 当 期 純 利 益		2,921,854
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	1,332,868	
法 人 税 等 調 整 額	△67,424	1,265,444
当 期 純 利 益		1,656,409

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

連結計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

平成28年2月9日

株式会社ベルパーク
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 金塚 厚樹 ㊞

指定有限責任社員 業務執行社員 公認会計士 川村 英紀 ㊞

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、株式会社ベルパークの平成27年1月1日から平成27年12月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、株式会社ベルパーク及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

計算書類に係る会計監査報告

独立監査人の監査報告書

平成28年2月9日

株式会社ベルパーク
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 金塚 厚樹 ㊞
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 川村 英紀 ㊞
業務執行社員

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、株式会社ベルパークの平成27年1月1日から平成27年12月31日までの第23期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

監査役会の監査報告

監 査 報 告 書

当監査役会は、平成27年1月1日から平成27年12月31日までの第23期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
 - ①取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
 - ②事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
 - ③会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人有限責任あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成28年2月12日

株式会社ベルパーク 監査役会
常勤監査役 敦 谷 敬 一 ㊟
(社外監査役)
社外監査役 齋 藤 邦 雄 ㊟
社外監査役 山 川 隆 久 ㊟

以 上

株主総会参考書類

第1号議案 剰余金処分の件

剰余金処分につきましては、以下のとおりといたしたいと存じます。

期末配当に関する事項

第23期の期末配当につきましては、当期の業績並びに今後の事業展開等を勘案いたしまして、以下のとおりといたしたいと存じます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 配当財産の割当てに関する事項及びその総額

当社普通株式1株につき金15円といたしたいと存じます。

なお、この場合の配当総額は96,206,880円となります。

(注) 中間配当15円を含めた当期の年間配当は、1株につき30円となります。

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

平成28年3月25日といたしたいと存じます。

第2号議案 定款一部変更の件

1. 提案の理由

- (1) 当社の今後の事業内容の拡大と多様化に対応するため、現行定款第2条(目的)に一部追加するものであります。
- (2) 「会社法の一部を改正する法律」(平成26年法律第90号)が平成27年5月1日に施行され、業務執行取締役等でない取締役及び監査役との間で責任限定契約を締結することが可能となりましたので、適切な人材を役員として招聘し、期待される役割を十分に発揮できるようにするため、定款第28条(取締役の責任免除)第2項及び第36条(監査役の責任免除)第2項の規定の一部を変更するものであります。なお、第28条(取締役の責任免除)第2項の変更に関しましては、各監査役の同意を得ております。

2. 変更の内容

変更の内容は次のとおりであります。

(下線は変更部分)

現 行 定 款	変 更 案
(商号) 第1条 (条文省略)	(商号) 第1条 (現行どおり)
(目的) 第2条 当社は次の事業を営むことを目的とする。	(目的) 第2条 当社は次の事業を営むことを目的とする。
1. (条文省略)	1. (現行どおり)
2. 電気通信機器及び事務機器の売買、リース、輸出入、レンタル、取付工事並びに保守業務	2. 電気通信機器及び事務機器の売買、リース、輸出入、レンタル、取付工事、 <u>修理並びに保守業務</u>
3. 家庭用電気製品、コンピューター、コンピューター周辺機器、コンピューターソフトウェア及びマニュアルの販売、輸出入及び保守業務	3. 家庭用電気製品、コンピューター、コンピューター周辺機器、コンピューターソフトウェア及びマニュアルの販売、輸出入、 <u>修理並びに保守業務</u>
4. ~ (条文省略)	4. ~ (現行どおり)
22. <u>自然エネルギー等の販売並びに発電機器の販売及び取次ぎ</u>	22. <u>電気、ガス及びその他のエネルギー事業全般に関する業務</u>
24. ~ (条文省略)	24. ~ (現行どおり)
27. (新 設)	27. <u>託児所の運営</u>
28. (条文省略)	28. <u>託児所の運営</u>
	29. (現行どおり)

現 行 定 款	変 更 案
<p>(本店の所在地) 第3条 ～ (条文省略) (報酬等) 第27条 (取締役の責任免除) 第28条 (条文省略) 2 当社は、<u>社外</u>取締役との間で、会社法第4 2 3条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額とする。</p> <p>(員数) 第29条 ～ (条文省略) (報酬等) 第35条 (監査役の責任免除) 第36条 (条文省略) 2 当社は、<u>社外</u>監査役との間で、会社法第4 2 3条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額とする。</p> <p>(選任) 第37条 ～ (条文省略) (除斥期間) 第43条</p>	<p>(本店の所在地) 第3条 ～ (現行どおり) (報酬等) 第27条 (取締役の責任免除) 第28条 (現行どおり) 2 当社は、取締役(<u>業務執行取締役等であるものを除く。</u>)との間で、会社法第4 2 3条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額とする。</p> <p>(員数) 第29条 ～ (現行どおり) (報酬等) 第35条 (監査役の責任免除) 第36条 (現行どおり) 2 当社は、監査役との間で、会社法第4 2 3条第1項の賠償責任について法令に定める要件に該当する場合には、賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額とする。</p> <p>(選任) 第37条 ～ (現行どおり) (除斥期間) 第43条</p>

第3号議案 取締役7名選任の件

取締役全員（7名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、あらためて取締役7名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	ふ り が な 氏 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
1	にし かわ たける 西川 猛 (昭和31年11月5日生)	平成5年2月 当社監査役 平成7年4月 当社代表取締役副社長 平成8年2月 当社代表取締役社長（現任） 平成26年2月 株式会社OCモバイル（現株式会社ベルパークネクスト）代表取締役社長（現任） 平成26年12月 一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会副会長（現任） (重要な兼職の状況) 株式会社ベルパークネクスト代表取締役社長	1,525,900株
2	ふる かわ ひとし 古川 等 (昭和40年9月13日生)	平成16年3月 当社入社 当社東海営業本部副本部長 平成17年1月 当社東海通信事業本部副本部長 平成18年4月 当社東海通信事業本部長 平成18年8月 当社関東移動体事業本部長 平成20年1月 当社移動体コンシューマ事業本部長 平成21年4月 当社営業本部長 平成25年3月 当社取締役営業本部長（現任）	1,000株
3	いし かわ ひろし 石川 洋 (昭和42年2月9日生)	平成11年8月 当社入社 平成11年9月 当社取締役管理部長 平成12年7月 当社取締役管理本部長 平成16年3月 当社執行役員管理本部長 平成21年3月 当社管理本部長 平成25年3月 当社取締役管理本部長（現任） 平成26年2月 株式会社OCモバイル（現株式会社ベルパークネクスト）取締役（現任） (重要な兼職の状況) 株式会社ベルパークネクスト取締役	2,000株

候補者 番号	ふ り が な 氏 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社 の株式数
4	たか す たけ お 高 須 武 男 (昭和20年6月24日生)	昭和43年4月 株式会社三和銀行(現株式会社 三菱東京UFJ銀行) 入行 平成5年10月 同行ロスアンゼルス支店長 平成8年4月 株式会社バンダイ入社 平成8年6月 米国BANDAI HOLDING CORP.代 表取締役社長 平成11年3月 株式会社バンダイ代表取締役 社長 平成17年6月 同社代表取締役会長 平成17年9月 株式会社バンダイナムコホー ルディングス代表取締役社長 平成21年4月 同社代表取締役会長 平成22年2月 同社取締役会長 平成23年6月 同社取締役相談役 平成25年3月 当社社外取締役(現任) 平成25年6月 株式会社KADOKAWA社外取締 役(現任) 平成25年11月 株式会社海外需要開拓支援機 構社外取締役(現任) 平成26年6月 HOYA株式会社社外取締 役(現任)	-
5	あき た よし き 秋 田 芳 樹 (昭和27年2月12日生)	昭和59年9月 公認会計士登録 平成7年6月 朝日監査法人(現有限責任あ ずさ監査法人) 代表社員 平成18年3月 当社社外取締役(現任) 平成19年9月 株式会社レイヤーズ・コンサル ティング代表取締役会長 (現任) 平成24年6月 株式会社安川電機社外取締 役 平成27年6月 同社社外取締役監査等委員(現 任) (重要な兼職の状況) 株式会社レイヤーズ・コンサルティング代表取 締役会長	-

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
6	ジョン・ダーキン (昭和35年4月18日生)	<p>平成9年9月 株式会社ナイキジャパン最高財務責任者兼情報システム本部長</p> <p>平成11年8月 同社代表取締役副社長</p> <p>平成13年11月 ジェイフォン株式会社(現ソフトバンク株式会社)専務取締役財務・調達本部長</p> <p>平成18年4月 ボードフォン・アジアパシフィック社長</p> <p>平成20年3月 日興コーディアル証券株式会社(現SMBC日興証券株式会社)専務取締役最高財務責任者</p> <p>平成22年4月 株式会社ベルシステム24執行役副社長CFO</p> <p>平成25年2月 株式会社あきんどスシローCFO常務執行役員財務本部長</p> <p>平成25年3月 当社社外取締役(現任)</p> <p>平成25年10月 株式会社あきんどスシローCFO常務執行役員財務IT本部長</p> <p>平成27年10月 株式会社スシローグローバルホールディングス取締役執行役員財務経理部担当(現任)</p> <p>株式会社あきんどスシロー取締役常務執行役員兼CFO財務本部長(現任)</p> <p>株式会社スシロークリエイティブダイニング取締役(現任)</p> <p>(重要な兼職の状況)</p> <p>株式会社スシローグローバルホールディングス取締役執行役員財務経理部担当</p> <p>株式会社あきんどスシロー取締役常務執行役員兼CFO財務本部長</p> <p>株式会社スシロークリエイティブダイニング取締役</p>	-

候補者番号	ふりがな氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位及び担当 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
7	ジュラヴリョフ・オレグ (昭和47年5月8日生)	平成10年2月 フィデリティ投信株式会社入社 平成15年1月 ガートモア・アセットマネジメント株式会社(現ヘンダーソン・グローバル・インベスターズ・ジャパン株式会社)入社 平成21年2月 株式会社シェアードリサーチ設立 代表取締役(現任) 平成25年3月 当社社外取締役(現任) 平成26年3月 株式会社レグス社外取締役(現任) (重要な兼職の状況) 株式会社シェアードリサーチ代表取締役	-

- (注) 1. 当社とジュラヴリョフ・オレグ氏が代表取締役を務める株式会社シェアードリサーチとの間には、アナリストレポート作成等に関する取引があります。その他の候補者との間には特別な利害関係はありません。
2. 高須武男氏、秋田芳樹氏、ジョン・ダーキン氏及びジュラヴリョフ・オレグ氏の4名は、社外取締役候補者であります。
3. 高須武男氏を社外取締役候補者とした理由は、企業経営者として経営全般にわたる豊富な経験と幅広い知見を有しており、この経験等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したためであります。なお、同氏の当社社外取締役在任期間は、本総会終結の時をもって3年となります。
4. 秋田芳樹氏を社外取締役候補者とした理由は、公認会計士やコンサルティング会社代表取締役としての豊富な経験、知見等を有しており、この経験等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したためであります。なお、同氏の当社社外取締役在任期間は、本総会終結の時をもって10年となります。
5. ジョン・ダーキン氏を社外取締役候補者とした理由は、財務分野における高い見識と企業経営者として経営全般にわたる豊富な経験を有しており、この経験等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したためであります。なお、同氏の当社社外取締役在任期間は、本総会終結の時をもって3年となります。
6. ジュラヴリョフ・オレグ氏を社外取締役候補者とした理由は、証券アナリストとしての業務経験やIR会社の代表取締役としての豊富な経験を有しており、この経験等を当社の経営に活かしていただけるものと判断したためであります。なお、同氏の当社社外取締役在任期間は、本総会終結の時をもって3年となります。
7. 当社は、高須武男氏、秋田芳樹氏、ジョン・ダーキン氏及びジュラヴリョフ・オレグ氏の4名との間で、会社法第427条第1項に基づき責任限定契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。なお、各社外取締役候補者の選任が承認された場合には本契約を継続する予定であります。
8. 当社は、高須武男氏、秋田芳樹氏及びジョン・ダーキン氏の3名を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。また、ジュラヴリョフ・オレグ氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員の要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

第4号議案 監査役2名選任の件

監査役敦谷敬一氏及び山川隆久氏の両名は、本総会終結の時をもって任期満了となります。つきましては、あらためて監査役2名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

候補者 番号	ふりがな 氏名 (生年月日)	略歴、当社における地位 (重要な兼職の状況)	所有する当社の株式数
1	つるや けいいち 敦谷 敬一 (昭和28年4月11日生)	昭和53年4月 株式会社北海道拓殖銀行入行 平成10年11月 株式会社整理回収銀行(現株式会社整理回収機構)入行 平成23年4月 同社債権管理部長 平成24年3月 当社社外監査役(現任) 平成26年2月 株式会社OCモバイル(現株式会社ベルパークネクスト)社外監査役(現任)	—
2	やまかわ たかひさ 山川 隆久 (昭和31年12月28日生)	昭和56年4月 衆議院法制局入局 昭和60年4月 弁護士登録 石原総合法律事務所入所 平成13年3月 当社社外監査役(現任) 平成14年3月 ルネス総合法律事務所開設(現任) 平成23年5月 ミニストップ株式会社社外監査役 平成27年5月 同当社外取締役(現任) 平成27年6月 川田テクノロジー株式会社社外取締役(現任)	—

- (注) 1. 山川隆久氏は、当社の法律顧問であります。また、当社と敦谷敬一氏との間には特別の利害関係はありません。
2. 敦谷敬一氏及び山川隆久氏の両名は、社外監査役候補者であります。
3. 敦谷敬一氏を社外監査役候補者とした理由は、会社の経営に関与された経験はありませんが、金融機関勤務を通して培った豊富な知識と経験に基づく客観的な視点から取締役の業務執行等の監査ができると判断したためであります。なお、同氏の当社社外監査役在任期間は、本総会終結の時をもって4年となります。
4. 山川隆久氏を社外監査役候補者とした理由は、弁護士としての専門の見地から、取締役の業務執行等に法令に違反する事実がないかという視点で監査ができると判断したためであります。なお、同氏の当社社外監査役在任期間は、本総会終結の時をもって15年となります。
5. 当社は、敦谷敬一氏及び山川隆久氏の両名との間で、会社法第427条第1項に基づき責任限定契約を締結しており、当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、法令の定める最低責任限度額としております。なお、各社外監査役候補者の選任が承認された場合には本契約を継続する予定であります。
6. 当社は、敦谷敬一氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。また、山川隆久氏は、東京証券取引所の定めに基づく独立役員要件を満たしており、独立役員として同取引所に届け出る予定であります。

以上

株主総会会場ご案内図

会場 ホテル ルポール麹町
2階 「ロイヤルクリスタルの間」
東京都千代田区平河町二丁目4番3号
TEL 03-3265-5365 (代表)

- ◎東京メトロ有楽町線 麹町駅1番出口より徒歩3分
- ◎東京メトロ南北線 (有楽町線・半蔵門線) 永田町駅9b番出口より徒歩5分

